

## ◆ 特定共同研究(A-1)

(研究期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(地震予知、火山噴火予知計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	プロジェクト名	
1206	伊藤喜宏	東北大	企画部	ゆっくり滑りの発生機構とアスペリティとの相互作用の解明	
1207	岡田知己	東北大	企画部	内陸地震発生過程の解明	
1401	卜部 卓	東大震研	卜部	地震活動・火山現象のモニタリングシステムの高度化	
1405	亀 伸樹	東大震研	亀	予測シミュレーションモデルの高度化のための手法開発	
1406	鶴岡 弘	東大震研	鶴岡	地震発生予測のための地震活動評価手法の基盤構築	
1411	上嶋 誠	東大震研	上嶋	ネットワークMT法観測による広域深部比抵抗構造の解明	
1414	佐藤比呂志	東大震研	佐藤	大規模活断層システムにおける長期地殻歪みの蓄積過程の解明	
1428	平賀岳彦	東大震研	平賀	可観測物性の状態・環境への依存性	
2501	長尾年恭	東海大	企画部	電磁気学的広帯域先行現象の観測的検証とその発現メカニズムに関する研究	

◆ 特定共同研究(B) (研究期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日)  
 (全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	新規 継続 最終 の年度別	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
2009-B-01	継続	中西一郎	京都大学大学院理学研究科	綿田辰吾	グローバル地震学	
2009-B-02	継続	小澤 拓	防災科学技術研究所	青木陽介	SARを用いた地震火山活動に伴う地核変動の検出	
2009-B-03	継続	翠川三郎	東京工業大学総合理工学研究科	瀧澤一起 鷹野 澄	首都圏ネットワークを利用した震源・地下構造・地震動生成メカニズムに関する研究	
2010-B-01	新規	名和一成	産業技術総合研究所	大久保修平	精密重力観測のための陸水補正法の開発と適用	
2010-B-02	新規	川勝 均	地震研究所	西田究	青い地球の地震学	
2010-B-03	新規	廣瀬 敬	東京工業大学	竹内 希 清水久芳	地球内部境界層の構造と全地球ダイナミクス	

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

## ◆ 特定共同研究(C)

(研究期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
2008-C-01	吉田真吾	地震研究所	吉田真吾	防災研究フォーラムによる地震火山研究の推進	
2008-C-02	小原一成	防災科学技術研究所	平田 直	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査	
2010-C-03	伊藤谷生	千葉大学理学研究科	佐藤比呂志	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (2) 制御震源を用いた地殻構造調査	
2008-C-04	山中佳子	名古屋大学環境学研究科	佐竹健治	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (3) 歴史地震等の記録の収集，整理及び再評価	
2008-C-05	竹中博士	九州大学大学院理学研究院	額額一起 古村孝志 三宅弘恵	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (4) 震源断層モデル等の構築	
2010-C-01	歌田久司	地震研究所	歌田久司	海底ケーブルネットワークによる地球物理学的研究	
2010-C-02	深尾良夫	海洋研究開発機構	歌田久司	地球深部の構造とダイナミクス	

 ※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。


◆ 一般共同研究（研究期間：平成22年4月1日－平成23年3月31日）

（所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
1	浦川 啓	岡山大学大学院自然科学研究科	三部賢治	圧力下における含水珪酸塩マグマの構造	
2	藤 浩明	京都大学大学院理学研究科	上嶋 誠	長周期電磁場観測で東北日本弧の広域深部比抵抗構造を推定する	
3	長谷見晶子	山形大学理学部	額額一起	オンサイト地震波処理システムに関する研究	
4	嶋野岳人	富士常葉大学環境防災研究科	安田 敦	富士山麓における火砕流堆積物の堆積過程に関する研究	
5	田守伸一郎	信州大学工学部	額額一起	方向性を持つ異常震域の機構解明に関する研究	
6	田部井隆雄	高知大学教育研究部自然科学系理学部門	加藤照之	プレート沈み込み様式の急変部における地殻変動の解明	
7	小野重明	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域	三部賢治	高温高圧条件下での炭酸塩鉱物の電気伝導測定	
8	大藤 茂	富山大学大学院理工学研究部	折橋裕二	三波川変成岩類の堆積年代の解明：碎屑性ジルコンのLA-ICPMSU-Pb年代から	
9	植平賢司	九州大学大学院理学研究院	ト部 卓 鶴岡 弘 中川茂樹	WINシステムの64ビット環境への対応（2）	
10	植平賢司	九州大学大学院理学研究院	鶴岡 弘	Grid MTを用いた九州地方及び日向灘の長周期地震波モニタリング	
11	杉山浩平	東京大学大学院農学生命科学研究科緑地創成学研究室	金子隆之	縄文時代後期の富士山起源降下火山灰と人類活動に関する研究	
12	里村幹夫	静岡大学理学部	加藤照之	稠密GPS観測に基づく微小地殻変動の研究	
13	松島 健	九州大学大学院理学研究院	及川 純	三宅島における稠密GPS観測網の再構築	
14	新正裕尚	東京経済大学経営学部	折橋裕二	紀伊半島と周辺地域の中新世火成岩：表層地質から付加体深部の地殻構造を探る	
15	齋藤 務	室蘭工業大学もの創造系領域	小屋口剛博	爆発的火山噴火における火口近傍での噴流構造に関する実験的数値解析的研究	
16	吉本充宏	北海道大学大学院理学研究院	中田節也	北海道地域の活火山掘削におけるボーリングコアの岩相解析	
17	吉本充宏	北海道大学大学院理学研究院	金子隆之	富士山麓、小御岳火山の噴火履歴の解明	
18	山中佳子	名古屋大学大学院環境学研究科	竹内 希	DSMを用いた新しい震源解析手法による運動型地震メカニズムの解明	

19	市川浩樹	愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター	市原美恵	マグマの気泡破裂に伴う弾性波生成の数値計算	
20	神田 径	東京工業大学火山流体研究センター	小山崇夫	地磁気連続観測による水蒸気爆発発生場の研究	
21	久保友明	九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門	平賀岳彦	下部マントル構成物質の結晶粒成長カインेटクスとレオロジー	
22	安間 了	筑波大学生命環境科学研究科	折橋裕二	海嶺沈み込みによる堆積物の物性変化とタービダイト発生頻度	
23	川本竜彦	京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設	三部賢治	緑泥石の脱水分析と破壊実験	
24	須田直樹	広島大学大学院理学研究科	鶴岡 弘	長期的スロースリップイベントの発生と非火山性微動の振幅度数分布変動の関連性	
25	渡邊裕美子	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室	中井俊一	付加体中の炭酸塩鉱物脈の年代学的研究	

◆ 研究集会 (研究期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会。

開催場所は原則として地震研究所)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催 予定日	
1	干場充之	気象研究所地震火山研究部第4研究室	東田進也	揺れる直前の地震動予測：さらなる迅速化と精度の向上	H22年11月～12月の中の2日間	
2	鈴木雄治郎	海洋研究開発機構地球内部変動研究センター	小屋口剛博	火山現象の数値計算研究	H22年10～11月	
3	竹下 徹	北海道大学理学研究院	岩崎貴哉	地殻ダイナミクスの総合的理解：地球物理学と物質科学の知見の総合	H22年7月15～16日	
4	村井芳夫	北海道大学大学院理学研究院	山下輝夫	リソスフェアの短波長不均質性のイメージングとモニタリングに関する研究の高度化ー地震発生帯の構造の時空間変化の解明に向けてー	H22年9月の2日間	
5	小菅正裕	弘前大学大学院理工学研究科	飯高 隆	跡津川から濃尾へ：内陸合同観測の成果と展望	H22年4月中旬の2日間	
6	木下正高	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域	山野 誠	海底および地下の流体移動をいかに検出するか：熱・電磁気・化学・湧出量測定の統合	H22年5月	
7	大村 誠	高知女子大学生活科学部環境理学科	青木陽介	地震・火山活動と関連する災害のリモートセンシング	H22年9月中旬 (連続3日間)	
8	松本 聡	九州大学大学院理学研究院附属島原地震火山観測研究センター	酒井慎一	新たな地殻活動観測の展開	H22年2日間	